

いつも、私らしく輝ける場所がある。



株主のみなさまへ 第51期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日

株式会社シャルレ 証券コード 9885



株主のみなさまへ



株式会社シャルレ 代表取締役社長

林 勝哉

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご支援、ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

株式会社シャルレはおかげ様をもちまして本年創業50周年を迎えることが出来ました。これもひとえに、株主のみなさまからの格別のご支援があつての賜物だと感謝いたしております。重ねてお礼申し上げます。

当社グループにおきましては、かねてより推進しております長期ビジョン「Charle Group Vision 2035」に基づき、中核事業であるシャルレ事業の抜本的な構造改革に向け、訪問販売ならではの強みと通信販売の利便性を両立させた独自のビジネスモデルへの転換に向けての体制づくりを進めてまいりました。また、2025年5月にはスノーウェアを中心とする各種スポーツウェアの企画・製造・販売を手掛けるオンヨネ株式会社の株式を取得し、グループ会社化いたしました。同社の持つノウハウを活かし、健康関連分野の新たな商品投入等、シナジーを実現し、グループ収益の拡大を図ってまいります。

依然として先行きの不透明な状況ではございますが、今後、確実に改革を推し進めてまいりますので、株主のみなさまにおかれましては、引き続き厚いご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

2025年11月

【事業の概況】

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の下支えにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、物価上昇の長期化による消費者マインドの下振れなどのリスクも残されており、依然として先行き不透明な状況が続いています。当社関連業界においても、生活防衛意識の高まりや、節約志向による需要の減少が懸念されています

レディースインナー事業では、原価高騰対策として実施した価格改定による一時的な駆け込み需要により増収となったものの、利益面では在庫ロスの増加による売上総利益率の悪化などによりセグメント損失となりました。

また、スポーツウェア事業におきましては、健康志向の需要の高まりによりヘルスケア商品が好調に推移しましたが、スポーツウェア事業で取り扱う製品は季節性が高く、下期に売上が集中する傾向を有していることから、売上自体は好調に推移したものの利益面ではセグメント損失となりました。

ファインパブル事業におきましては、依然として競争激化による厳しいビジネス環境が継続しており、ホテルなど大型施設等に向けた営業活動や、シャワーヘッドのブランディング再構築、商品ラインナップの拡充等を図りましたが、売上、利益とも前年を大きく下回りました。

これらの結果、グループの経営成績につきましては、売上高は61億31百万円、営業損失は5億15百万円、経常損失は4億91百万円、親会社株主に帰属する中間純損失は3億79百万円となりました。

なお、オンヨネ株式会社を連結の範囲に含めたことにより、当社グループの報告セグメントを従来の2つのセグメントから、オンヨネ株式会社を「スポーツウェア事業」とする3つのセグメントに変更し、従来の「レディースインナー等販売事業」を「レディースインナー事業」に「ウルトラファインパブル技術製品等製造販売事業」を「ファインパブル事業」に名称変更しております。

連結財務諸表

中間連結貸借対照表

単位:百万円

科 目	当中間連結会計期間 2025年9月30日	前連結会計年度 2025年3月31日
(資産の部)		
流動資産	11,730	12,234
固定資産	8,212	7,025
有形固定資産	3,040	2,275
無形固定資産	1,050	1,063
投資その他の資産	4,121	3,686
資産合計	19,943	19,260
(負債の部)		
流動負債	2,087	1,587
固定負債	1,524	820
負債合計	3,612	2,407
(純資産の部)		
株主資本	16,260	16,865
資本金	100	100
資本剰余金	8,398	8,398
利益剰余金	8,079	8,584
自己株式	△ 317	△ 216
その他の包括利益累計額	△ 9	△ 12
非支配株主持分	79	—
純資産合計	16,330	16,852
負債純資産合計	19,943	19,260

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

科 目	当中間連結会計期間 2025年4月1日 ～2025年9月30日	前中間連結会計期間 2024年4月1日 ～2024年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 496	△ 748
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,635	△ 935
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 147	△ 502
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 3,279	△ 2,186
現金及び現金同等物の期首残高	7,692	12,687
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,413	10,501

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

単位:百万円

科 目	当中間連結会計期間 2025年4月1日 ～2025年9月30日	前中間連結会計期間 2024年4月1日 ～2024年9月30日
売上高	6,131	5,714
売上原価	3,623	3,133
売上総利益	2,507	2,581
販売費及び一般管理費	3,023	2,889
営業損失 (△)	△ 515	△ 307
営業外収益	27	13
営業外費用	3	0
経常損失 (△)	△ 491	△ 294
特別利益	111	—
特別損失	0	5
税金等調整前中間純損失 (△)	△ 380	△ 300
法人税、住民税及び事業税	8	4
法人税等調整額	△ 9	3
中間純損失 (△)	△ 379	△ 308
非支配株主に帰属する中間純損失 (△)	△ 0	—
親会社株主に帰属する中間純損失 (△)	△ 379	△ 308

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ32億79百万円減少し、44億13百万円となりました。

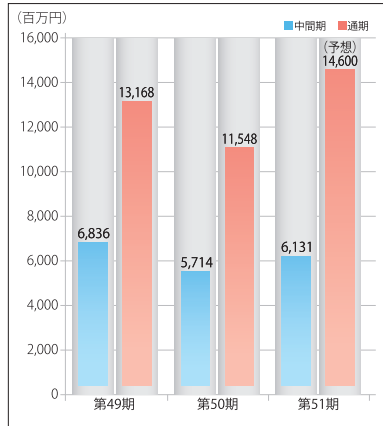
(営業活動によるキャッシュ・フロー)
営業活動によるキャッシュ・フローは、4億96百万円の支出となりました(前中間連結会計期間は7億48百万円の支出)。主な要因は、税金等調整前中間純損失3億80百万円、減価償却費及びその他の償却費2億37百万円、棚卸資産の増加5億63百万円、未払又は未収消費税等の増減額の増加1億32百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)
投資活動によるキャッシュ・フローは、26億35百万円の支出となりました(同9億35百万円の支出)。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出11億70百万円、投資有価証券の取得による支出8億円、定期預金の増加による支出5億円であります。

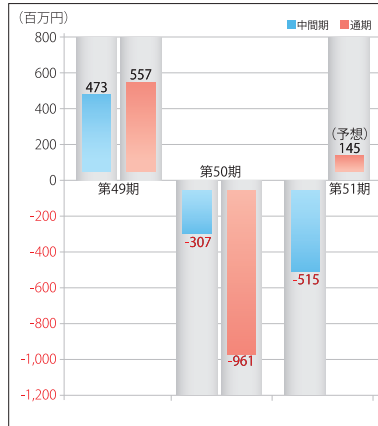
(財務活動によるキャッシュ・フロー)
財務活動によるキャッシュ・フローは、1億47百万円の支出となりました(同5億2百万円の支出)。主な要因は、短期借入金の純増加1億円、配当金の支払額1億24百万円、自己株式の取得による支出1億円であります。

連結財務ハイライト

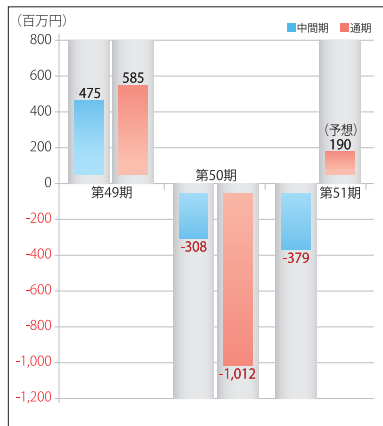
売上高



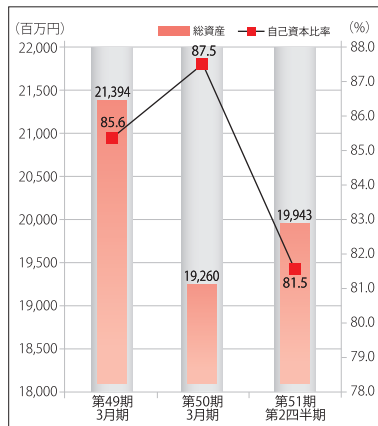
営業利益



親会社株主に帰属する 当期(中間)純利益又は 当期(中間)純損失



総資産・自己資本比率



決算ポイント

【売上高の状況】

レディースインナー事業におきましては、価格改定に伴う、一時的な駆け込み需要があったことや、寝具類や健康食品類が好調に推移したことなどにより、売上高は伸長いたしました。

スポーツウェア事業におきましては、ヘルスケア類において健康志向の高まりにより、販売状況は大幅に計画を上回りました。ファインパブル事業におきましては、ホテルなど施設等に向けた営業活動を積極的に実施しましたが、大型店への導入がなかったことにより、売上高は前年同期を下回りました。

これらにより、連結売上高は61億31百万円（前年同中間期比7.3%増）となりました。

【営業利益の状況】

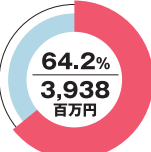
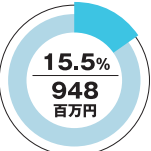
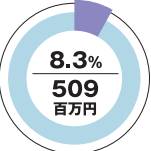
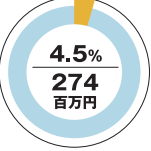
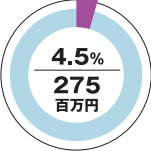
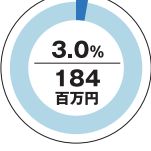
レディースインナー事業では、原価高騰や在庫過多による棚卸資産評価損の増加等により売上総利益が大きく減少しました。スポーツウェア事業におきましては、取り扱う製品の季節性が高く、下期に売上が集中するという傾向を有していることから、売上自体は好調に推移したものの、セグメント損失となりました。

また、ファインパブル事業におきましては、競合の激化に伴う売上高の減少により利益率が悪化し、固定費の削減を行ったもののセグメント損失は拡大しました。これらにより、当中間連結会計期間の連結営業損失は5億15百万円（前年同期は3億7百万円の営業損失）となりました。

【親会社株主に帰属する中間純損失】

オンネ株式会社を子会社化したことともなう、負ののれん発生益の計上により、親会社株主に帰属する中間純損失は3億79百万円（前年同期は3億8百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

報告セグメント別売上高

セグメント 売上構成比／売上高		売上高の推移(単位:百万円)		51期中間連結会計期間 トピックス
レディース ライン事業	衣料品類	 64.2% 3,938 百万円	1,000 2,000 3,000 4,000 5,000 6,000 7,000 8,000 9,000 第51期(2026年3月期) 中間連結会計期間 中間連結会計期間 (3,938) 第50期(2025年3月期) 中間連結会計期間 (3,917) 通期(7,806) 第49期(2024年3月期) 中間連結会計期間 (4,543) 通期(8,683)	数量限定商品として発売した婦人向けアウター類の販売状況は低調に推移しましたが、寝具類の「快眠リバーシブルゲルトキット」は好調に推移しました。また、価格改定に伴う駆け込み需要の影響もあり、衣料品全体の売上高は前年同期と比較し増加いたしました。
	化粧品類	 15.5% 948 百万円	0 500 1,000 1,500 2,000 第51期(2026年3月期) 中間連結会計期間 中間連結会計期間 (948) 第50期(2025年3月期) 中間連結会計期間 (1,078) 通期(2,036) 第49期(2024年3月期) 中間連結会計期間 (1,150) 通期(2,116)	基礎化粧品類を中心に前年の売上を下回ったほか、一部商品において、前年度と比較して発売期間がずれたことなどもあり、化粧品全体の売上高は前年同期と比較し減少いたしました。
	健康食品類	 8.3% 509 百万円	0 200 400 600 800 1,000 第51期(2026年3月期) 中間連結会計期間 中間連結会計期間 (509) 第50期(2025年3月期) 中間連結会計期間 (408) 通期(925) 第49期(2024年3月期) 中間連結会計期間 (482) 通期(929)	美容と健康維持をテーマに、メロン果汁濃縮物などを配合した「ルミオーラ」を新発売し、健康食品全体の売上高は好調に推移したため前年同期と比較して増加しました。
	その他	 4.5% 274 百万円	0 100 200 300 400 500 600 第51期(2026年3月期) 中間連結会計期間 中間連結会計期間 (274) 中間連結会計期間 (95) 第50期(2025年3月期) 通期(308) 中間連結会計期間 (119) 第49期(2024年3月期) 通期(355)	スタイリングとヘアケア機能付きの「ヘアケアアイロン」を新たに発売し売上高に貢献いたしました。 なお、当セグメントに不動産賃貸収入17百万円を含めて表示しております。
	スポーツウェア	 4.5% 275 百万円	0 100 200 300 400 500 第51期(2026年3月期) 中間連結会計期間 中間連結会計期間 (275)	季節変動の影響を受けにくいオールシーズン類、ヘルスケア類の2つの商品カテゴリーの販促強化に注力し、ヘルスケア類では、健康志向の高まりに加え、販促強化が奏功し、売上高は大幅に計画を上回りました。
ファイナ ンス事業	ファイナ ンス事業	 3.0% 184 百万円	0 200 400 600 800 1,000 第51期(2026年3月期) 中間連結会計期間 中間連結会計期間 (184) 中間連結会計期間 (213) 第50期(2025年3月期) 通期(472) 第49期(2024年3月期) 中間連結会計期間 (540) 通期(1,084)	ホテルなど施設等に向けた営業活動を積極的に実施しましたが、大型店への導入がなかったことにより、売上高は前年同期を下回りました。

シャルレグループを代表する商品のご紹介

(株)シャルレ取扱商品

衣 類



好みに合わせて選ぶ
シリーズライン

ボディータータの平均値から
パターンをつくる下着メー
カーが多いなか、シャルレは
モニターの声や着用感を重
視。新しい商品をつくるた
びに、新しいパターン(型紙)を
作成しています。



「着る+動く」で、
元気な毎日

シャルレ独自の技術と確かな
理論に基づいて開発された商
品が、アクティブな毎日を応援
します。

Charlie Wellness
シャルレウェルネス

化 粧 品



eterrite

CHARAISE

心はずむ美しさを身体のすみずみまで
みずみずしい肌や、つややかな髪は女性の美
の象徴。美しさの本質を追求したスキンケア、
ヘアケアのラインナップです。

健康食品



びわの葉入り
まるごと発酵茶

ルミオーラ

エナジン
ウォーマー

ns 自然の恵みを、
科学のちからで摂りやすく
自然食材が持つ健康成分に着目し、有用成分
を効率よく摂取できるようにした「ns」。摂って
キレイをサポートする、新しい健康習慣。

当社グループ製品

オンヨネ株式会社
／スポーツウエア



株式会社TKS
／シャワーヘッド

PureLUS
Purelus fine Luminous
ビューアラスファインルミナス



シャワーヘッドは使い分ける時代へ

特別な機能を
「プラスワン」



頭皮ケア専用 スカルプファイン

株主メモ・株式に関するお手続きについて

株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基 準 日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先0120-094-777(通話料無料)
同 連 絡 先	
公 告 の 方 法	電子公告 公告掲載 URL https://www.charle.co.jp/company/outline/publicnotice.html (ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載。)
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場
証 券 コ ー ド	9885

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

『コーポレートガバナンス』の内容に関しましては、
以下よりご覧いただけます。

【URL】

<https://www.charle.co.jp/corporate/governance/>

【シャルレホームページ】

「シャルレホームページ」⇒「企業情報」⇒「コーポレートガバナンス」
を選択

株式に関するお手続きについて

特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への 振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定(※)	○郵送物等の発送と返戻に 関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に 関するご照会 ○株式事務に関する一般的な お問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)	
手続書類のご請求方法	
インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/	

(※)特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問合せ	○左記以外の お手続き、ご照会等
お問合せ先	
株主名簿管理人	
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	口座を開設されている 証券会社等に お問合せください。

いつも、私らしく輝ける場所がある。



株式会社シャルレ
<https://www.charle.co.jp/>